

テーマ（体験活動を効果的に関連付けた道徳の指導方法の工夫）

指導者 T1 田村 麗子

T2 福田 裕子

1 学年 第3・4学年

2 主題名 「困っている人のために」 （ 2－（2） ）

3 ねらい 相手の事を思いやり，進んで親切にしようとする態度を養う。

4 資料名 「ぼくたち，手つだいます！」 （出典：「どうとく3 明るい心で」東京書籍）

5 本時の主題について

本主題は，内容項目2「主として他の人とのかかわりに関すること」の（2）「相手のことを思いやり，進んで親切にする。」にあたる。中学年になると，相手の気持ちをより深く理解できるようになるため，温かい心とともに，相手に対する思いやりの心を育てることが一層重要になってくる。相手の現在の状況，困っていること，大変な思いをしていることなどを想像することによって，相手のことを考え，親切な行為を自ら進んで行うことができるように指導していくことが大切である。

6 本時の主題に係る児童生徒の実態について

本学級の児童は，i-checkの「友達が落ち込んでいる時，友達が今どんな気持ちでいるかを考えてから声をかけていますか」という項目では9名中8名，また「あなたのクラスには，思いやりのある優しい人がいますか」という項目では全員が肯定的回答をしている。しかし，実際の様子を見ると優しく思いやりがあり，友達が何か困っているとサッとかけより声をかけ力になってあげられる児童と，誰かが助けるだろうと行動にうつさず人任せにする児童，また，周りに対してあまり関心を示さない児童とがいる。

体験活動については，意欲的で，誰かの役に立てることを喜びながら一生懸命に活動できる児童が多くいる。しかし，言われたからやっているだけで，思いやりの気持ちをもつことや親切な行為を行うことの素晴らしさを実感として感じられていない児童もいる。

7 資料について

本資料は，兄と50本限定の釣竿を買いに急ぐ途中，車が故障して困っていたおじいさんを見かけた主人公と兄が，しばらく考えた末に「ぼくたち手伝います」と一緒に車を押し始める。なかなか車は動かないが，そのうちに通りかかったおじいさんとお兄さんが手伝ってくれて車は動き，気分よくまた買い物に向かうという内容である。自分のことよりも困っているおじいさんのことを優先しようとした主人公の気持ちを考えていくことで，言われたから，ほめられるから手伝うのではなく，人に親切にすると自分も幸せな気持ちになるということを想像することができる資料である。

8 指導過程の工夫

①テーマに係っての工夫

9月18日に行われる安芸太田町「しわいマラソン」に向けて、12日にはマラソンコースを走るランナーの方に気持ちよく走ってもらえるように小・中合同で道路の清掃を行う。その体験活動を効果的に関連付け、本時の授業を行う事で、18日に行われる「しわいマラソン」についても、応援しようという意欲を高めたい。

②発問の工夫

展開前段では、車が動かなくなって困っているおじいさんを見て、おじいさんはどんな事で困っているのか想像させる。次に、急いでいる中でどうして手伝いをすることにしたのか、自分の思いや理由をワークシートに書いて考えさせ、グループで語り合わせる。グループで語り合う事で、自分達の今までの経験をもとに自然な語り合いの場が生まれると考える。また、その後の発問では、高校生ぐらいのお兄さんとおじいさんの気持ちを考えさせる。色々な登場人物の気持ちを考えさせることで、児童の道徳的価値観を高めていきたい。

③導入・展開・終末の工夫

導入では、i-check の項目「あなたのクラスには、思いやりのある優しい人がいますか」を取り上げ、誰のどんな所に思いやりがあると感じているのかを聞く。お互いに認め合うことで、温かい雰囲気です授業を始められるようにしたい。終末では、しわいマラソン実行委員の方からのメッセージを紹介し、自分達が行った清掃活動を喜んでもらったこと、また、実行委員の方をはじめ安芸太田町全体の思いやりの気持ちがマラソンを盛り上げ、参加しているランナーの満足度につながっていることなどに気づかせたい。そして、18日のしわいマラソンを地域の一員として盛り上げていこうという気持ちを持たせて終わりたい。

9 準備物

教科書，ワークシート，ネームプレート

10 授業の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導形態		指導上の留意点 (☆評価の観点)
			T 1	T 2	
導入	1 i-check の項目を振り返り、課題意識を持つ。	○i-checkの項目「あなたのクラスには、思いやりのある優しい人がいますか」には全員が「はい」と答えていました。誰のどんな行動を思いやりがあると感じていますか。	発問	掲示	○アンケートを振り返ることで、本時の主題への方向付けとする。
展開	2 教材文を読んで話し合う。	○動かなくなった車を押しているおじいさんは、どんなことで困っているのでしょうか。 ・重くて一人では車を動かせない。 ・このままではみんなに迷惑がかかる。 ・危ないから早く動かしたい。 ◎急いでいたのにどうしてぼくは「ぼくたち、手伝います。」と言ったのでしょうか。 ・困っているから助けたい。 ・ほっておけない。 ・何とかしてあげたい。	範読 発問	掲示 板書	○おじいさんが一人で困っている様子に気づき、大変な思いをしていることを想像させる。
	3 本時を振り返る。	○高校生のお兄さんとおじいさんは、どうしてぼくたちを手伝ってくれたのでしょうか。 ・子供達が頑張っているから。 ・子供達だけだと無理だから。 ・知らないふりをして通り過ぎるのは冷たいから。	発問	板書 発問	○ワークシートに思いを書かせ、グループで意見交流を行う。 ○困っている人の気持ちを考え、行動を起こした主人公と自分の経験と重ねて話せるようにする。
		○今日の授業を振り返って「思いやり」について気づいたことや考えさせられたこと、感想を書いてください。 ・人に親切にすると気持ちがいい。 ・これから困っている人を見たら、手伝ってあげたい。	発問	板書 発問	○児童の反応を比較したり、自分ならどうかと揺さぶりをかけたりして、児童が価値観を高めたいけるようにする。
終末	4 教師の説話を聞く。	○しわいマラソン実行委員の方からのビデオメッセージを紹介する。	操作	説話	☆思いやりについて考えることができ、これからどうしたいか考えることができる。(ワークシート)

11 板書

なかなか動かない

場面絵

場面絵

- ・ 高校生的なお兄さんとおじさん
- ・ 子供達が頑張っているんだから手伝おう。
- ・ 子供だけだと無理だろう。
- ・ 知らないふりをして通り過ぎるのは冷たい。
- ・ 困っているから助けて。

顔

全く動かない

場面絵

ぼくたち、手伝います。

- ・ 困っているから助けて。
- ・ ほっておけない。

顔

め 思いやりについて考えよう

ぼくたち 手伝います

- ・ このままではみんなに迷惑がかかる。
- ・ なんとか動かしたい。
- ・ だれかに手伝ってもらいたい。

顔

12 ワークシート

○ 本だけの考えを 自分で考えてみるから聞きただけか。 ○ ○ ○ △

○ 自分の考えを聞いてみるから聞きただけか。 ○ ○ ○ △

今日の学習の振り返りを書いてみよう。

「ぼくたち、手伝います！」

め 思いやりについて考えよう

急いでいたのだからとっさとしてぼくは

「ぼくたち 手伝います！」と言ったのでしよう。

名前) (

